

水資源と男女共同参画に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
ダイバーシティ社会推進課	2016年02月04日から 2016年02月18日まで	1206	764	63%

今回は水資源・地域プロジェクト課と男女共同参画・NPO課からお伺いします。

三重県では、水資源の確保と水道水の供給に関して、県民の皆様安心してお使いいただける水を、安定的に供給することに心掛けています。つきましては、今後の施策の参考とするため、水資源に関するアンケートを行います。（Q1からQ5までの5問です。）

また、三重県では、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」をめざし、さまざまな取組を行っています。「男女共同参画社会の実現」に向けた取組を進めるため、男女共同参画に関するアンケートを行います。（Q6からQ11までの6問です。）

【三重県「男女共同参画社会の実現に向けて」のホームページ】

<http://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/>

皆様のご意見をお聞かせください。

■ Q1 水道への接続

はじめに、水資源についてお聞きします。あなたの現在のお住まいは水道（市町や民間が設置したもの）に接続されていますか？あてはまるものを1つ選んで下さい。

合計	764	
接続している	758	99.2%
接続していない	6	0.8%

■ Q2 飲料水の供給元

あなたのご家庭で主にお使いの飲料水（調理用、飲用）を教えてください。あてはまるものを1つ選んで下さい。

合計	764	
水道水（浄水器等を通した水道水を含む）	683	89.4%
井戸水などの地下水	9	1.2%
湧き水などの地表水	6	0.8%
ペットボトルなどの市販の水	63	8.2%
その他	3	0.4%

■ Q3 飲料水に求めるもの

あなたがお使いの飲料水に求めるものはどのようなことですか？あてはまるものを全て選んで下さい。

合計	764	
水質の安全性	751	98.3%
味、におい	582	76.2%

日常の安定供給	588	77.0%
地震などの災害時の安定供給	486	63.6%
渇水時における安定供給	374	49.0%
水源の良さ	285	37.3%
名水、ブランド水などの銘柄	17	2.2%
水源や水質などに関する情報	190	24.9%
料金の安さ	382	50.0%
特にない	4	0.5%
その他	3	0.4%

■ Q4 飲料水の満足度（1）

あなたがお使いの飲料水は、安定的に供給され、安心して使えますか？あてはまるものを1つ選んで下さい。（満足度としてお答え下さい。）

合計	764	
満足	403	52.7%
どちらかと言えば満足	288	37.7%
どちらともいえない	48	6.3%
どちらかと言えば不満	17	2.2%
不満	2	0.3%
わからない	6	0.8%

■ Q6 男女平等について（社会全体）

ここからは、男女共同参画についてお聞きします。あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

※家庭、地域、会社をはじめとするさまざまな場面をお考え下さい。

合計	764	
男性の方が非常に優遇されている	54	7.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	368	48.2%
平等である	163	21.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	53	6.9%
女性の方が非常に優遇されている	8	1.0%
わからない	118	15.4%

■ Q8 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

合計	764	
同感する（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成）	25	3.3%
どちらかといえば同感する	242	31.7%
どちらかといえば同感しない	248	32.5%
同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）	199	26.0%
わからない	50	6.5%

■ Q9 男女共同参画の推進について

今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

合計	764	
女性の意識改革	219	28.7%
男性の意識改革	401	52.5%
女性の家事・育児の負担軽減	193	25.3%
男性の家事・育児への参画	198	25.9%
長時間労働の是正	222	29.1%
女性が自らの能力を高める機会の提供	89	11.6%
女性の参画を進める必要はない	9	1.2%
その他	35	4.6%
わからない	30	3.9%

■ Q10 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んで下さい。

合計	764	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	10	1.3%
結婚して子どもができるまでは働くが、その後は働かない方がよい	20	2.6%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい	401	52.5%
結婚して子どもが生まれた後も、働き続ける方がよい	221	28.9%
一生働かない方がよい	2	0.3%
わからない	40	5.2%

その他	70	9.2%
-----	----	------

■ Q11 女性の働き方について（理由）

Q10で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び働く方がよい」を選択された方にお尋ねします。なぜ、そのように考えますか。次の中から1つ選んで下さい。

合計	401	
配偶者の協力や理解が得られそうにないから（協力できないから）	12	3.0%
職場における育休制度等の支援制度が不十分だから（勤務時間も含め、仕事と育児を両立できないから）	93	23.2%
収入面で不安がなく、子どもが幼いうちは無理をして働く必要がないから	18	4.5%
保育園などの子どもの預け先がないから（保育環境が整っていないから）	18	4.5%
子どもが幼いうちは育児に専念したいから（専念した方がよいから）	235	58.6%
結婚や出産を機に退職する慣行があるから	8	2.0%
その他	17	4.2%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture